



テクノス通信

vol.56
2014.

1

今月のテーマ 「離床センサーの故障のサイン見逃していませんか？」

病院や施設内でお使い頂いている離床センサーを正しく、安心、安全にお使いいただくためにも、日頃の動作チェックが大切です！下のチェック項目に当てはまるものがないか確認いただき、該当する項目があれば、早期点検・修理依頼をオススメいたします！

センサー

- コードの内部が見えている。



断線する恐れがあります。ケーブルを引っ張って、センサーを移動させる事は控えて下さい。



- 寝返りで反応する。又は、報知が遅い。



設置位置の問題でなければ、内部電極を傷めている可能性があります。

- センサーが破れている。



センサーの破れは、水分浸入によって修理不能となる恐れがあります。

- センサーが反応しない。



設定の問題でなければ故障の可能性もあります。コードレスセンサーの場合は内部の電池消耗も考えられます。

詳しくは今月の教えて相談室！をご覧ください。

送信器・中継ボックス

- コードの内部が見えている。



断線する恐れがあります。設置位置までコードが届かないのであれば、延長コード*のご使用をおすすめします。
*一部のナースコール形状のみとなります。



- 専用フックや壁掛けベースが壊れている。取れている。



送信器や中継ボックスの落下は故障に繋がりますので、専用フックや壁掛けベースで固定をお願いいたします。

- ケースが割れている。



断線や、内部基板の故障につながる可能性があります。

- 電池スナップが断線している。



使用できません。電池交換をされる際にはゆっくりと電池スナップを外して下さい。

専用受信機

- ポケット受信機の充電が不安定。



↑充電時には必ず電源が入ります。

充電器と本体の接触不良の可能性もあります。本体と充電器をセットにして弊社までお送りください。



- 受信機の音量設定が全て同じ音量になる。



↑大中小と音量が設定できます。

スピーカーの故障の可能性があります。落下や強い衝撃は避けて下さい。

- ACアダプタでの運用時に、電池消費警報ランプが点灯する。



ACアダプタの断線が考えられます。

- ハイパー受信機、ポケット受信機のアンテナが折れている。



受信距離を保つためにはアンテナは必ず必要です。アンテナが破損しないよう取り扱いに注意をお願いします。



来月号もご期待ください。